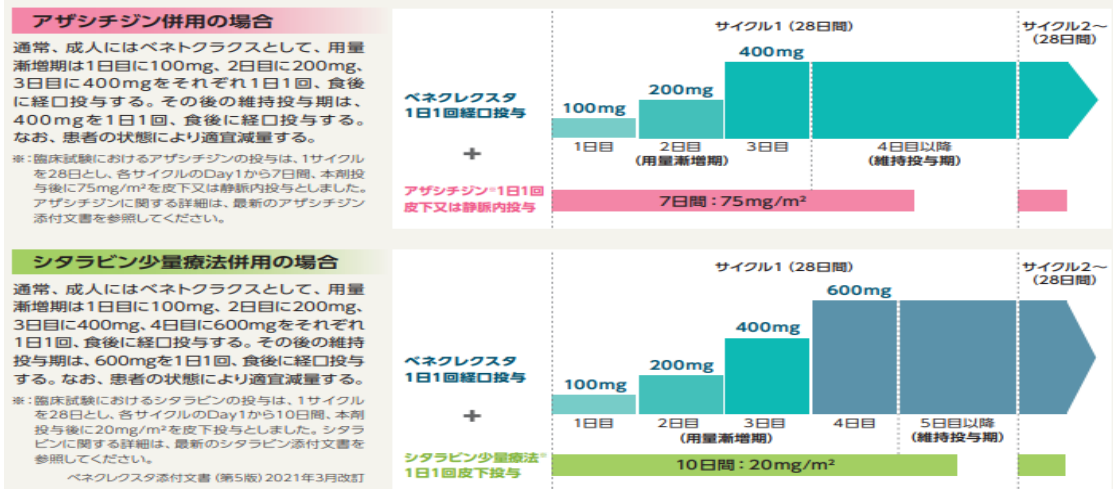


ベネクレスタ投与前チェックリスト (AML 用)

ID: _____ 患者名: _____

□ レジメン名 _____

アザシチジン併用の場合: 維持投与期は、400mg シタラビン少量療法併用の場合: 維持投与期は、600mg



併用薬の確認

□ 併用薬に該当する CYP3A 阻害剤がない

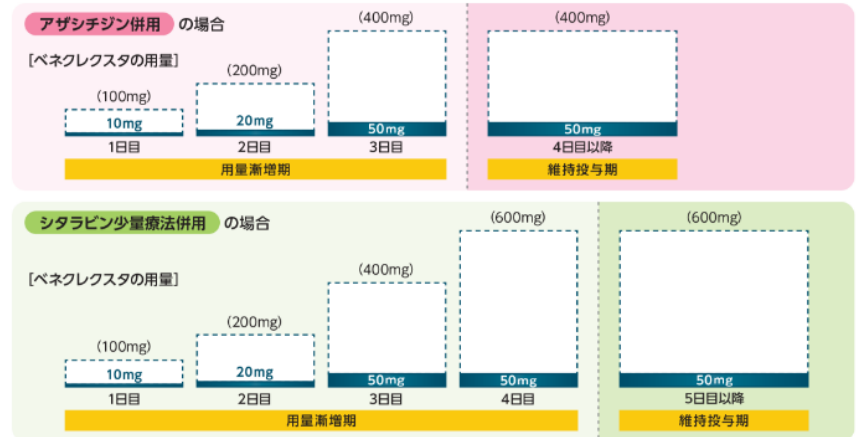
□ 併用薬に該当する CYP3A 阻害剤がある
強い阻害剤 → 10 mgから開始、維持 50 mg

- コビシスタット
- イトラコナゾール
- ケトコナゾール
- ポサコナゾール
- リトナビル
- ポリコナゾール
- クラリスロマイシン

中程度の阻害剤 → 半量以下に減量

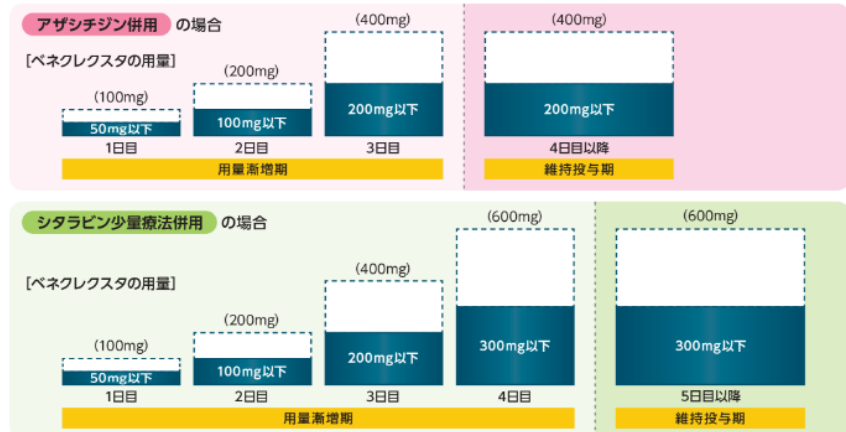
- アプレピタント
- シプロフロキサシン
- クリゾチニブ
- ジルチアゼム
- フルコナゾール
- イマチニブ
- ミコナゾール
- トフィソパム
- アタザナビル
- シクロスポリン
- エリスロマイシン
- ホスアンプレナビル
- イストラデフィリン
- ベラパミル

強いCYP3A阻害剤と併用する場合



ベネクレスタ添付文書 (第5版) 2021年3月改訂より作成

中程度のCYP3A阻害剤と併用する場合 (ベネクレスタは半量以下に減量してください。)



導入前における L/D 確認

Child-Pugh 分類 > C

分類 C 患者に対しては、本剤の 1 日 1 回投与量を 50% 減量

	1	2	3
脳症	なし	軽度(I,II)	時々昏睡(III)
腹水	なし	少量(1-3L)	中等量(3L~)
血清ビリルビン値(mg/dL)	2.0 未満	2.0~3.0	3.0 越え
血清アルブミン値(g/dL)	3.5 未満	2.8~3.5	2.8 未満
プロトロンビン活性値(%)	70 越え	40~70	40 未満

Grade A(軽度)	5~6 点
Grade B(中等度)	7~9 点
Grade C(高度)	10~15 点

白血球数 < 25000

白血球数が 25000 μ L 未満になるよう、本剤開始前にヒドロキシカルバミドなどで腫瘍量減量要調整

導入前後の生活に対する注意点事項等確認

食事や健康食品の確認

セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)を含む食品:ベネクレクスタの作用減弱

グレープフルーツおよびフラノクマリンを多く含有する柑橘系ベネクレクスタの作用増強

★入院中の食事のオーダー、指導について病棟看護師、栄養科へ確認

TLS 予防の措置

フェブリク錠投与の確認

本剤投与開始前から、1.5~2.0L/日の水分摂取を指導する。

伝達事項

--

レジメン入力者	確認者